



# ルート証明書の 自動更新機能の設定について (Windows Vista/7)

Version 2.0

PUBLIC RELEASE

2011/10/24

# 目次

はじめに.....	1
1. ルート証明書の自動更新機能の設定確認.....	2
1.1. グループポリシーの設定確認 .....	2

## 改訂履歴

日付	バージョン	内容
2011/07/04	1.0	
2011/10/24	2.0	

このドキュメントは予告なく変更される場合があります、サイバートラスト株式会社はその内容に対して責任を負うものではありません。

また、このドキュメント内に誤りがあった場合、サイバートラスト株式会社は一切の責任を負いません。

このドキュメントで説明するソフトウェアはライセンスに基づいて配布されるものであり、ライセンスの条項に従った使用のみ許可されます。このドキュメントは、本来の使用目的のために発行され、公に発行されるものではありません。

このドキュメントの一部または全部を複製することは禁じられており、提供または製造を目的として使用することはできません。

ただし、サイバートラスト株式会社との契約または同意文書で定められている場合に限り、この注記の添付を条件として複製することができます。サイバートラスト株式会社から事前に書面による合意を得ない限り、このドキュメントまたはその一部から直接的または間接的に知り得た内容または主題に関して、個々の企業やその従業員などの第三者に対し、口頭、文書、またはその他のいかなる手段によっても伝達することはできません。

## はじめに

- ・ 本ドキュメントは、ルート証明書の自動更新機能の設定について述べています。
- ・ ルート証明書の自動更新機能は、SSL サーバ証明書が使用されている Web サイトへ接続した際に、Microsoft 社による信頼された機関の一覧に追加されている場合に、SSL 通信に必要な信頼されたルート証明書を信頼済み証明書ストアへ自動的にダウンロード・追加する機能となり、本機能はデフォルトで有効となっております。
- ・ 本ドキュメントは、ルート証明書自動更新機能の確認方法、および、設定方法について述べています。

# 1. ルート証明書の自動更新機能の設定確認

ルート証明書の自動更新機能が有効となっているか確認し、無効となっている場合は有効にします。

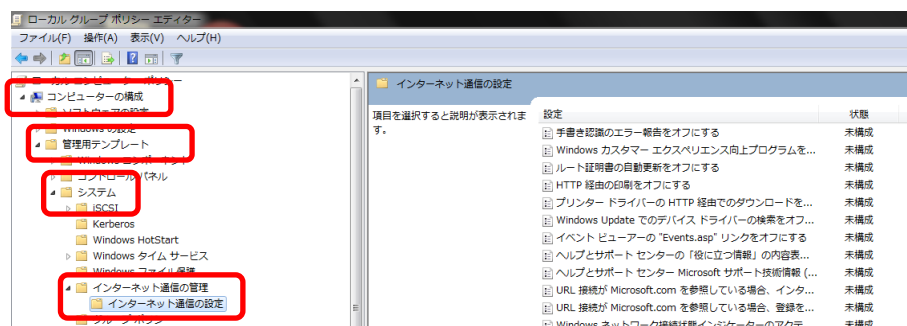
## 1.1. グループポリシーの設定確認

Microsoft 管理コンソール (Microsoft Management Console, MMC)から確認します。

- A) 【スタート】ボタンをクリックし、【プログラムとファイルの検索】欄へ「gpedit.msc」と入力して、上部に【プログラム】に表示された「gpedit.msc」をクリックします。



- B) 画面左のツリーから【コンピュータの構成】→【管理用テンプレート】→【システム】→【インターネット通信の管理】→【インターネット通信の設定】をクリックします。



## C) 【ルート証明書の自動更新をオフにする】項目の状態を確認します。

※デフォルト設定では未構成です。



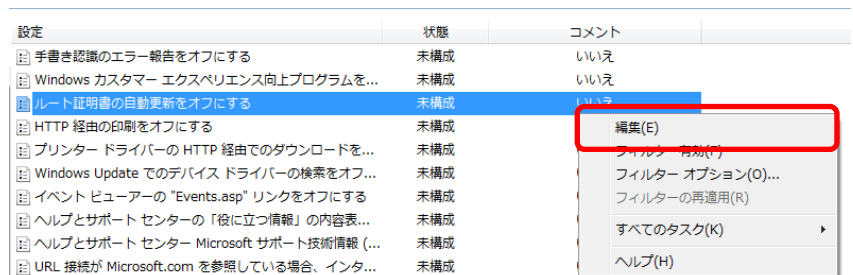
### ■ 未構成・無効の場合

ルート証明書の自動更新機能は有効となっているため、設定変更は必要ありませんので、ウインドウを閉じて終了します。

### ■ 有効の場合

ルート証明書の自動更新機能が無効となっているため、以下の手順で有効にします。

#### 1. 【ルート証明書の自動更新をオフにする】を右クリックし、【編集】をクリックします。



2. 【無効】または【未構成】にチェックを入れて、【OK】をクリックします。



ルート自動更新機能の有効化手順は以上となります。